



発　行　高島市今津地域住民自治協議会
事務局　今津町中沼一丁目4番地１
今津東コミュニティセンター
（今津公民館）
TEL　090-4927-3222
メール　info@imazu-jichikyo.org
ホームページ
https://www.imazu-jichikyo.org/

よそごとではない！最も高い発生確率活断層



政府の地震調査委員会は８月28日、内陸活断層地震の今後30年以内の発生確率などを発表しました。今回初めて発表された地域別発生確率が、国内でも活断層が集中している「近畿三角帯」でマグニチュード6.8以上で「50～60%」となりました。

さらに発生確率が高くなったのが「琵琶湖西岸断層帯北部区間」で、今回の改訂で断層が南に約6キロ延び、推定マグニチュードが7.1から7.3に変更され、「1～3%」だった確立が「3～14%」に上がりました。これは近畿で最も高い断層帯にランクされました。

いつおこるか判らない災害。地震だけではなく全国で大雨による災害など、大きな被害が発生しています。「今までこんなことはなかった」とコメントする被災者インタビューに、よそごとではなく、わが身に置き換えて、個人や地域で備えておくことが重要だと改めて知らされました。

自治協では、個人で備えること、区や自治会で備えること、広域避難所で備えることを、広域避難所毎にできる事から進め、地域防災力を高めていくことにしています。

基本は「自分の命は自分守る」です。地震はいつ、どこでおこるか判りません。「もし、今おこったら」と考え、家の耐震は？　家具の下敷きにはなりませんか？　非常持ち出し品は？　自分や家族との連絡は？　などマイタイムラインを確認し、チェックしてみましょう。

区、自治会では、地域の災害リスクを皆んなで共有し、被害を減らすために必要な備えと発生時の行動を決めておくことが大切です。避難支援者名簿や安否確認方法などは、発生以降の生死にかかわる重要な備えです。あってはならない災害ですが、誰ひとり被害者にならない、被害者をださない地域となるよう備えましょう。





今、なぜ学校×地域?

今、学校で取り組まれているコミュニティ・スクールって聞いたことありますか?

『コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域の公立学校の運営に保護者、地域の皆さんの声を生かす仕組みです。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることを通じて、保護者、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。(引用:文部科学省)』と、あります。

なんで学校と地域の連携が必要? 学校のことは先生に任せておけばいい!との声もありますが…

コミュニティ・スクールの背景にあるものは、多様な人々との関わりやさまざまな経験を重ねるなかで、子どもたちの「生きる力」が育まれ、学校だけで育まれるものではないというものです。子どもたちは地域にとっても未来の宝です。さまざまな立場の人が、子どもたちの未来を考え、関わりのなかで健やかな成長を見守ることが、子どもたちのふるさとへの愛着にも、地域の一員としての意識にも、「生きる力」にもつながります。

ところが、少子化や人口減少・高齢化などの社会の変化が、地域のつながりの稀薄化を生み、地域での教育力の低下につながっているとの指摘があります。また、学校を取りまく問題も複雑化し、子どもたちが抱える困難の多様化が問題となっています。

そこで、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら、課題を共有し、ともに考え行動する「社会総掛かり」の体制が求められています。

自治協では、下校時の見守り活動や学校応援ボランティア活動の支援、地域との連携支援などを通して、「地域とともにある学校づくり」を支援していきます。





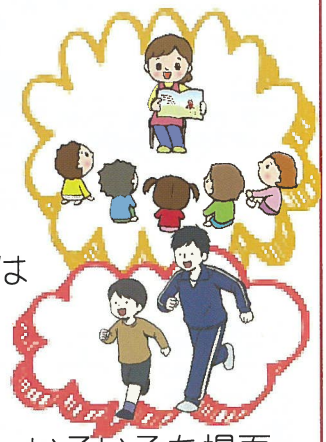
子どもたちは地域の宝

まず、応援を「できる人が、できるときに、できることを、できる範囲で」してみませんか?

子どもたちの学校生活、できる時に応援してみませんか?

学校は子どもは卒業したし、なかなか行く機会もなくなった。関係ない者が行ってもいいのか判らない、などの声もありますが、できる範囲で応援してください。

地域の人が子どもたちと関わることが大事です。



学校応援は、たとえば授業サポートとして家庭科実習、九九の聞き取り、読み聞かせなど。見守りサポートはマラソン大会や郊外活動の見守りなど。学習環境サポートは、花壇づくりや除草など、いろいろな場面で応援することがあります。

【応援ボランティア】
今津東小学校
「はなまる広場」
今津北小学校
「北っこ応援団」
応募は各校にお問い合わせください。

募集中
多くのご参加をお願いいたします!!



知ってる？街ネタ アルバム



8／1　やっさ今津　大勢の人の輪ができた盆踊り会場。高島音頭の軽快な音頭に、飛び入り参加も多く、「ザ・夏まつり」の一コマでした。



8／29　琵琶湖周航の歌の会「うたつたえコンサート」今津中学校吹奏楽部によるダイナミックな演奏に大きな拍手が湧きあがりました。



8／1　やっさ今津　ステージと花火で会場は最高に盛あがりました。



9／5ヴォーリズ JAZZ　NIGHT　夏の夜の恒例フェスティバル。通りに音楽があふれ、圧巻のジャズライブに酔いしれました。



江若鉄道展　江若鉄道を語り継ぐ会が、東コミュニティセンターで開きました。入場者は貴重な写真や実物、ジオラマに「懐かしい」との声。AI で復活したカラー版は見応え充分でした。



9／13　今津レガッタ　琵琶湖周航の歌との関わりが深いフィックス艇の競漕もあり、湖岸からおおきな声援がとんでいました。



伝言板



今津のまち再発見
スタンプラリー開催中

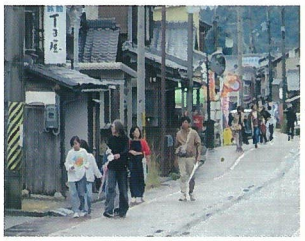
楽しくまち歩きしてみませんか! 12月27日まで「近江今津スタンプラリー」が開催中です。

今回は、近江今津駅周辺や浜通りなど、今津のまち散歩にふさわしい4コースに、お店など40カ所のチェックポイントがあります。参加賞や達成者には交換景品もあり、新たな再発見もあるかも～

今津壱番市
10月25日(日)開催

毎回好評いただいている今津壱番市。いろいろな“いいもの”をとり揃え、見たり聞いたり体験したりと、通りを活かしたまち散歩をゆっくりしていただけるよう準備しています。

ぜひ、通りをぶらり散歩してみてください



近江今津駅西口広場イルミネーション
11月28日(土) 点灯式イベント

街にあかりをプロジェクト実行委員会は、今年も点灯式当日、夢コンテスト発表やステージイベント、マルシェを計画しています。

前日にも摘み取り体験が

オリーブフェスタ
10月11日(日)
会場　南深清水オリーブほ場



10周年を記念し、収穫や選別体験、オリーブオイルテイスティング、いろいろな飲食ブースなど、盛りだくさんなイベントです。

お問い合わせは、南深清水FF倶楽部まで。

最新情報はこちら

トークフォークダンス In 今中
11月18日(水)
今中体育館
13:20～15:00



今中の3年生とおしゃべりしてみませんか?
大人と中学生が1分間づつ、次々と相手を変えておしゃべりします。どなたでも気軽にご参加できます。ぜひ!!

申し込みは

ワンポイント防災



高島市のハザードマップお手元にありますか?

防災でまず大事なことは、自分の住んでいる場所が安全かどうか、災害の危険度を知ることからです。

最近、線状降水帯の発生で異常な雨量が観測されたとの報道がよくありますが、わが家は大丈夫ですか?氾濫と土砂災害! 地震も発生してから、ハザードマップを見ている暇はありません。まずわが身を守ることが第一。そのためにももう一度確認しておきましょう。

(ハザードマップは、令和4年4月に全戸配布されています。また、高島市ホームページにも掲載されています)



ぽこフェス2026
10月24日(土)10:00～15:00

ゆたか会では、清湖園1階地域交流スペースとグランドでイベントを開きます。ワークショップや飲食コーナーなど、楽しい企画がいっぱい。お立ち寄りください。

編集後記



前号のクールスポットの紹介で、マイクールスポットのお便りをいただきました。テレビでは、専門家が来年以降も猛暑など異常気象が続くと警鐘をならしていました。大きな災害がないことを祈りますが、わが身を守るマイスポットがいっぱいあるといいですね。身体も気持ちも、どちらも大事ですから。